

皆さんは各教科の学習課題に、地道に取り組んでいることだろう。私も休業期間に皆さんが使っている教科書に目を通してみると、国語(1年)の「**頭の中の無限大**」があった。

目の前の空間には実は**無数の自分の知らない、  
気づいていない空間**が隠されている。  
それを利用するしかない。

これは、「宜野湾高校の生徒達へ(2)」で触れた「**人間は人生から問いかけられている存在である**」とも関連するのではなかろうか。「人生」を「世界」に置き換えてみると、「人間は世界から問いかけられている存在である」。「我々が知らない、気づいていない世界」が限りなくあり、隠されている世界を顕かにすることにより、私たちの人生は豊かになっていくに違いない。「**世界**」を知る手がかりが**教科学習**と考えれば、学ぶ意欲も高まりはしないか。

国語(2年)の教科書には「**迷う力のすばらしさ**」があり、次の箇所が印象に残った。

みんなは、まだ若い。  
だから、なにかゆっくりとたのしみながら  
**迷える課題**をひとつ、もってほしい。  
三年から五年くらいかけて、  
じわじわと醍醐味にひたれるようなテーマ。  
**勉強**や**部活動**のこともいいし、恋愛でも、趣味でも、  
自分が**将来就きたい仕事**のこともいい。  
とりあえず、そのテーマをつきつめて、  
自分で**納得**がいったら、つぎの新しい「**迷い**」を探せばいいのだ。  
そうやってなにかをすこしづつ身につけていくたのしみに、  
一生のうちいくつ出会えるか。  
そこに**その人の豊かさ**がある。



石田衣良氏

国語(3年)の教科書の「**どんな人になりたかったか?**」も印象的だ。

子供のころ、それもいろんな時期にそうねがったとして、  
**あのような人になりたい**と心にきざんだモデルが、  
誰にも、幾人かはあるはずです。  
そして私は自分の生きてきた日々を検討してみて、  
まず、あの人になりたいとねがった誰についても、  
完全にその人のままにはなれなかった、と思います。  
しかし、それに続けて、あの人のようになりたいたいと思った、  
その人のように、**少しずつなっ**てはいるようだ、とも考えるのです。  
そこで私は、子供の時に、その人の振る舞い方、態度について  
**深く印象づけられるまま、あの人のようになりたいたい、と決心する**のは  
良いことだと思います。



大江健三郎氏

「宜野湾高校の生徒達へ」も8回目となった。まだ、目を通していない生徒は**必ず読む**こと(校長からの課題)。それが学校再開後に好スタートを切ることにもなるし、何よりもこれからの皆さんの人生にとって大切なことが盛り込まれていると思うからだ。

学校再開が伸びたが、来週から感染防止策を取った中でのクラス別登校日が始まる。登校した生徒達の笑顔を想像すると、学校でやれることに全力で取り組む決意が心の底から湧いてくる。

宜野湾高等学校長 津留一郎